

防衛大臣 中谷元 様

参議院議員 大椿ゆうこ

防衛省広報アドバイザー・弘兼憲史氏による
辺野古新基地建設反対運動に関する誤情報の発信についての質問状

10月17日発売の週刊漫画誌「モーニング」(講談社)に掲載された「社外取締役 島耕作」において、作者の弘兼憲史氏が辺野古新基地建設に反対する市民に「アルバイトでやっている人がたくさんいますよ」「私も一日いくらの日当で雇われたことがありました」との台詞を語らせ、辺野古新基地建設に反対する市民があたかも雇われているかのような誤情報を広げた事件(以下、単に「本事件」という)がありました。弘兼氏は講談社と連名で謝罪を掲載し、単行本掲載時には内容を修正するとしましたが、新基地建設反対運動の真正性を根拠なく貶める表現が広く出回ったことは大変遺憾です。

とりわけ、弘兼氏は防衛省広報アドバイザーを務めており、氏の発言が防衛省の公式な立場を表すものと受け取られるのではないか、或いは氏が誤った事実認識に基づいて防衛省の広報活動に対する助言を行っているのではないか、等の懸念を抱きます。本事件について、防衛省の認識を質問致しますので、10月25日(金)までにご回答下さいますよう、宜しくお願い致します。

1. 防衛省広報アドバイザーが誤情報を発信したという本事件について、防衛省としてどのような認識を持っているか。
2. 「辺野古新基地建設反対運動に関わる市民は日当を支払われている」という言説に関し、防衛省はどのような見解を持っているか。

3. 広報アドバイザー、また弘兼氏に対し、防衛省は自らが進める施策、またそれに反対する市民の運動等について、レクチャー等を行うことはあるか。とりわけ、辺野古新基地建設反対運動や沖縄の平和運動について、レクチャー等を行っているか。行っている場合、沖縄の運動に関してどのようなことを教えているのか。「運動に関わる市民は日当を支払われている」趣旨のことを伝えているのか。
4. 本事件を受け、防衛省はどのような措置を執るのか。弘兼氏に対しては、指導や訓告、または広報アドバイザーからの解任等の処分を行う予定はあるか。
5. 防衛省が広報アドバイザーに、基地問題を含め防衛省の施策に関連する内容についての表現や発信を依頼することはあるか。今回の弘兼憲史氏の表現は完全に本人の事実認識の誤りによるものなのか、或いは防衛省から働きかけを受けこのような表現を行ったのか、どちらか。本事件の原因について、防衛省として内部調査を行う予定はあるか。
6. 防衛省は広報アドバイザーに対し、報酬を支払っているか。支払っている場合、その額・体系(日当か、月給か、出来高制か、等)を示されたい。

以上